

寝屋川民報

議会版

発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email: jpcnc@ccnet.or.jp
No. 1940

田中 ひさ子
国松町 10-36
☎ 823-1714

寺本 とも子
豊里町 38-1-105
☎ 829-9424

中林 かずえ
宝町 4-33
☎ 839-2289

中谷 光夫
高宮 155-8
☎ 823-5947

松尾 信次
下木町 12-6
☎ 821-7427

税源移譲で 市府民税税率の見直し

6月議会が14日から30日までの日程で始まります。

一方、所得税の税率は現在の4段階(10、20、30、37%)から6段階(5、10、20、23、33、40%)に変更されます。

「寝屋川市池の里市民交流センター1条例」は、昨年度から廢校になつた旧池の里小学校跡地に、体育施設(グランド、体育室)、文化資料施設、自然資料施設、多目的室(貸館施設)を有した交流センターを設置するものです。

個人住民税の税率は、現在の3段階(5、10、13%)から一律10%になります。

「今回の見直しの前後で所得税・個人住民税合計の税負担を増加させない」という原則のもと、負担増を解消するための減額措置が行われます。

その他の議案では、寝屋川市納骨・合葬施設新設工事請負契約の締結、町(字)の区域の変更が提案されています。

6月市議会 市税条例の改正 池の里市民交流センター条例等提出される



廃校になつた旧池の里小学校

高、同時におこなわれるたばこ税の引き上げでは、千本当たりで府で105円、市で426円の引き上げとあわせて、小売りで1本1円との値上げと

加(好)社

教育基本法改悪問題

竹若教育長と懇談

太田くみ子日本共産党府政対策委員長は、「みんなの声と運動で教育基本法改悪をやめさせよう」を手渡

し、懇談しました。中谷光夫、中林市議が同席しました。

法律相談

とき:6月15日(木)夜6時半より

ところ:市民会館第3・4会議室

予約、お問い合わせは党市議員まで

寝屋川民商事務局員募集

中小業者運動に熱意のある方

詳細は面談の上

お問い合わせは寝屋川民商まで
電話 072-827-2111

視界

先日サラ金の被害相談で、夫婦で6社からの借り入れでした(残額65万円、返済期間は10年と20年)。最初に1社、2社と増やし、返済と借金をくり返してきました。債務整理や自己破産のことも知らず、「借りたものは返さねばと働いてきた」と涙されました▼返済のため、保険料が返えず健康保険証はこの数年交付されず、市民税も5年間滞納になっていた。滞納分を払えと言われる思い、相談に来れなかつたことでした。「市役所に相談に来ていたら、ここまで苦勞せずとも解決方法が見つかったはず。保険料納付課や納税課の職員はサラ金業者とは全く違う。市民の困難の原因を解決する制度があれば教えてくれるし、家賃や食費をけずって家で払えとは言わないのが公務員だから」という私の説明に対し、ほつとした様子でした▼結局滞納していた市民税は、5年間の滞付申告で金額が少額になりました。この滞付申告制度(本人は知らなかつた)の説明も窓口で市職員から聞きました。

第2京阪公聴会 中谷議員が公述

高すぎる建設工事のムダをなくし アセス再実施・万全な環境対策を

6月3日、第2京阪道路事業等に係る公聴会で、中谷光夫議員が、沿線住民の立場から、国土交通省と西日本高速

道路(株)への質疑を含め公述しました。中谷議員は、①「緑立つ道」は、寝屋南区面整理事業にみるよう

「談合工事」の過去を再調査し発表

沿線の過去の入札調査し発表
沿線住民の立場から、国土交通省と西日本高速道路(株)への質疑を含め公述しました。中谷議員は、①「緑立つ道」は、寝屋南区面整理事業にみるよう

「談合」の可能性を報じる5/16「産経」紙

近鉄若江岩田駅再開発 東大阪市が10・五億円追加負担

2日、寺本・中林議員は東大阪市の「近鉄若江岩田駅再開発事業」を視察しました。運営主体である再開発組合の経営破綻が何度も新聞で報道されました。再開ビル床のうち、305戸(保留床200戸の内178戸は、大阪府住宅供給公社が買取)は、完全

指導した市の 責任問われる

そのため、市が当初予定していなかった男女共同参画センターや福祉事務所をビルに入れました。また、組合が経営することになっ

て、店舗床が売れ残っていた駐車場(306台)も市が5億円で買取り第3セクターに運営させています。それでも採算がとれず、金融機関と建設会社の債務放棄に至ったのです。東大阪市も管理監督責任を問われ、約10億5000万円の追加負担となりました。

「緑立つ道」広報紙に5億円

中谷議員は、健康被害の実情を反映しない環境基準の問題点を指摘し、現地調査をぜひと訴えました。そのうえで、①環境影響予測が、供用時でなく、なぜ2020年か②光化学スモッグの原因物質の除去対策③歴史公園の設置などについて④建設工事の高落札率の問題を

ふまえ、宣伝広報紙「緑立つ道」の経費、等について質問しました。「緑立つ道」広報紙は、北河内、大阪市鶴見区の4.5万世帯、平成5年から54号で5億円との答弁でした。中谷議員は、むだ遣いをやめ、住民が求めるアセス再実施や環境対策こそ優先にと、重ねて求めました。

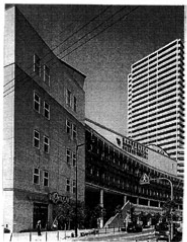
議員日誌



中林 かずえ

先日、スパー銭湯建設に絡んで工事被害がでているとの連絡が現地に行きました。騒音と振動がすごい状況でした。現場の横の道路には深い亀裂が走り、周辺の民家の壁にもひび割れが発生してしまいました。工事騒音にたえられず昼間避難する住民もでていました。

被害の原因は、地下20mに入れている支柱を掘り起こす解体工事でした。池田中町自治会には事前に工事説明が行われたものの、被害は施工業者も予想外だったとのことでした。今後の被害の解消と充分な被害保障をきちんと行うのが企業としての社会的責任です。



再開ビル